

## 活動場所を提供する社会福祉法人から聴取した意見

### 1 意見を聴取した社会福祉法人の概要

#### (1) 社会福祉法人A

ア 所在地

神奈川県

イ 事業内容

障害福祉サービス事業（生活介護事業）

#### (2) 社会福祉法人B

ア 所在地

神奈川県

イ 事業内容

障害福祉サービス事業（生活介護事業，入所事業），横浜市地域ケアプラザの運営

### 2 社会福祉法人からの意見

#### (1) 保護観察所から社会貢献活動への協力依頼があった際，最初にしたことについて

##### 【施設長からの意見】

- ・保護観察対象者と接したことはなかったが，仕事上，様々な生活上の課題を抱える人と接することはあり，不安感等はなかった。
- ・以前から地域の社会福祉協議会で保護司と接する機会はあるが，余り不安は感じなかった。

##### 【社会貢献活動担当者からの意見】

- ・不安等はなかった。
- ・活動に参加する保護観察対象者がどんな非行や犯罪をしたのかということとは気になる。
- ・施設の利用者に対し，活動に参加する保護観察対象者のことをどのように説明したら良いか迷ったが，今はボランティアの人と紹介しており，

特段支障はない。

- ・社会福祉協議会に勤めていた経験があり、保護司会の事務局も担当していたため、保護司の職務については理解していた。保護観察対象者と直に接したことはなかったが、余り不安は感じなかった。

(2) 社会貢献活動へ協力することを決めた理由について

**【施設長からの意見】**

- ・どのような人も分け隔てなく受け入れるというのが社会福祉法人としての使命だと考えており、協力することに迷いはなかった。
- ・この施設（法人）では、日頃からボランティアを受け入れており、できることがあれば何でも協力したいという気持ちがあった。

**【社会貢献活動担当者からの意見】**

- ・保護観察対象者が更生することは大切なことだと考えているため、そのために何か役立つことがあるなら協力したいと思った。
- ・福祉施設にとっては、地域と良い関係を築くことが重要であるため、地域の課題があるのであれば、協力しようという気持ちがあった。

(3) 社会貢献活動の実施に当たり、工夫していることについて

**【施設長からの意見】**

- ・振り返りの際の感想を捉え、気付きがあればその点を褒めるようにしている。
- ・「障害のある人も町の中にいるんだよ」ということを伝え、今まで気付かなかったところにも目を向けてもらうようにしている。
- ・活動前に施設を見学するようにしており、そのときに、利用者から「頑張ってるね」と拍手とともに送り出してもらうようにしている。
- ・活動終了後の振り返りの時間では、施設職員からお礼の言葉を述べるようにしている。
- ・送迎車の清掃の際には、利用者の感想を伝えることをしている。
- ・活動中に施設職員が立ち会うことはないが、気が付いたら、お礼を言ってもらおうよう施設職員や利用者をお願いしている。

**【社会貢献活動担当者からの意見】**

- ・活動状況を見ていれば、どの程度の力があるかは分かるので、それを踏まえて、次の作業を簡単なものにするか、難しいものにするか、個々に合った活動内容にしている。
- ・利用者の補助作業等、利用者に関わる場合には、できるだけ情緒が安定している利用者の隣に座らせるなど、保護観察対象者が手助けしやすいような人と関われるように配慮している。

(4) 社会貢献活動の実施に当たり、困ったことについて

**【施設長からの意見】**

- ・協力してくれる保護司の数が多いこともあり、困ったことは余りない。
- ・これまで参加した保護観察対象者のうち、一人だけ物を盗むような素振りを見せる人がいたので、気を付けて見ておくよう施設職員に指示したことはあった。

**【社会貢献活動担当者からの意見】**

- ・雨天でも基本的には中止できず、天候により、急きょ活動内容を変更しなければならない場合があることは、大変だと感じる。
- ・施設の見学や道具の準備、振り返りのための部屋の準備等は、他のボランティア団体が活動するときにはしておらず、大変だと感じることもある。

(5) 社会貢献活動へ協力して良かったと感じたことについて

**【施設長からの意見】**

- ・外部の人が来所することにより、施設に良い緊張感が生まれるし、風通しが良くなると思う。
- ・利用者は、日常生活において関わる人が限られるため、社会貢献活動の参加者は良い刺激になる。
- ・活動を始める前に、利用者から拍手で送り出されてうれしそうにしている保護観察対象者の様子などを見ると、協力して良かったと感じる。

**【社会貢献活動担当者からの意見】**

- ・施設の運営には地域の理解が不可欠であるため、社会貢献活動を通じ、施設のことを伝える機会になるのは良いことだと考えている。

(6) 保護観察対象者にとっての社会貢献活動の効果や意味について

**【施設長からの意見】**

- ・ストレートな感情表現をする利用者から、ありがとうと言われることは良い経験になるだろうし、自分がお兄さんやお姉さんとなって、利用者に何かをしてあげるという経験も良いのだと思う。
- ・普段とは違った役割をしたり、普段やらないことをやって、できるようになったという経験をしたりするのは、今後も役立つと思う。
- ・福祉施設は、外からだけでは何をやっているか分からないので、直接見てもらって、介護等に興味を持ってもらいたい気持ちがある。

**【社会貢献活動担当者からの意見】**

- ・保護観察対象者にとっては、視野が広がる機会になるのではないかとと思う。

(7) 今後、他の福祉施設に新たに社会貢献活動に協力を求める際、留意すべきこと

**【施設長からの意見】**

- ・経営面を考えると、なかなか協力できない施設もあることは知っておいて良いと思う。
- ・活動の趣旨をきちんと説明すれば、できることがあれば協力したいと考えている施設は多いと思うので、特段問題はないと思う。

**【社会貢献活動担当者からの意見】**

- ・地域とのつながりを強めるために有用であるなど、社会貢献活動を引き受けることによる利点を説明すれば、引き受けてもらいやすいのではないと思う。
- ・施設職員がずっと活動の様子を見守るなど、通常の体制を変えてまで活動を受け入れるのは難しい場合もあると思うので、協力を依頼する際に施設側とよく話し合う必要があると思う。

(8) 福祉施設との情報共有について

【施設長からの意見】

- ・施設長は、職員よりも先に保護観察対象者の事情を承知しておくだろうが、職員に事情を話すとしても、活動が終わった後にして、先入観を持たせないようにすると思う。

【社会貢献活動担当者からの意見】

- ・具体的な罪名等を聞くと逆に身構えてしまうこともあると思う。
- ・特段事前に罪名等を知りたいとは思わず、保護観察中であるということが分かれば良い。
- ・罪の重い人が参加する場合、緊張はすると思うが、活動をやろうと思っていれば、それで良いという思いもある。

(9) その他の意見・提案等について

- ・活動後の振り返りで、口頭ではうまく気持ちを表現できている保護観察対象者であっても、実際に記載された振り返りシートを見ると、うまく文章化できていないなという印象はある。
- ・初めて活動に参加する保護観察対象者が目標等を書くのは難しいと思うので、活動後の達成状況だけ記載する形でも良いのかもしれない。
- ・活動の始めと終わりだけ保護観察官や保護司が見に来て、活動は保護観察対象者だけで行うというのも良いと思う。1回目の活動からでは難しいということであれば、2回目や3回目からそうするというのも良いと思う。